

第 26 回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナー報告書

世話人 福井啓介

この度、令和元年 11 月 23 日に第 26 回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナーを福岡県筑紫野市の「大観荘」にて開催いたしましたので、ご報告させていただきます。

「令和」ゆかりの地、太宰府の里山に目を向けると紅葉が美しく色づくころ、筑紫野の地にて、第 26 回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナーを開催させていただきました。九州各地よりご来場いただき、参加者数は 133 名と多くの方に参加いただきました。おかげ様で今回のセミナーを盛会のうちに無事に開催することができました。これもひとえにご参加頂きました会員の皆様、協賛を賜りました多くの企業の皆様、福岡徳洲会病院関係者のご支援ご協力あつての賜物と深く感謝しております。

セミナーのテーマは「体外循環とモニタリング」をメインテーマとしました。私たちは体外循環を行うにあたり様々なモニタリングから得られた情報で考え、操作、観察、対応しています。情報を総合的に判断し、診断し、早期に治療し危機的状況を予防的に回避することでより質の高い体外循環を行うことが可能となると考えこのテーマといたしました。

セミナーの内容としましては、特別講演 I にて JR 広島病院の原様の司会にて「心臓はなぜ動くのか」のテーマで、福岡記念病院臨床工学室技士長の有田誠一郎様にご講演いただきました。内容は心電図の基礎的な話を基本に、電解質、薬の作用、実臨床での色々な心電図の観察の仕方を分かりやすく賜りました。

メーカープレゼンテーションでは、九州医療センターの富永様の司会にて、リヴァノヴァ株式会社様、日本メドトロニック株式会社様、泉工医科工業株式会社様、テルモ株式会社様、4 社の企業様からプレゼンテーションを行っていただきました。また 12 社の企業様から機器展示もあり、皆様の交流する場となりセミナーを大いに盛り上げていただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

シンポジウムでは、「モニタリングから良好なアウトプットを」というテーマで、JCHO 九州病院の松本様、中頭病院の東様、大隅鹿屋病院の長元様、佐世保市総合医療センターの矢谷様 4 名の先生方に、各ご施設のモニタリングから、情報をどのようにインプットし、そこからどのようにアウトプットしているのかご講演いただきました。また鹿児島医療センター淵脇様、熊本大学病院の小原様の司会進行にて参加頂いた皆様と良好なアウトプットについて論議できたと思います。このシンポジウムにて学ぶことのできた知識（インプット）を、自施設に持ち帰り更により良好なアウトプットへ進化させることで、質の高い体外循環操作を行うことができるのではないかと感じました。

教育講演では、佐賀県医療センター好生館の成田様の司会にて「体外循環の輸液管理の考え方」というテーマで、大阪大学医学部附属病院臨床工学部技士長の南茂様より、人工心肺充填液の重要性、輸液の適正管理の必要性を学ぶことができました。各施設の充填液、輸液管理について再検討することのできるご講演を賜りました。

特別講演 II では「人生 100 年時代の心臓手術～高齢者開心術の特徴～」というテーマで、福岡徳洲会病院副院長の片山雄二先生よりご講演を賜りました。これから我々が

経験する人口変動から、高齢者の特徴、フレイルティの重要性、外科的大動脈弁置換術 vs 経カテーテル的大動脈弁留置術、また CABG に使用させますグラフトで最新の Pedicle SVG についても解りやすくお話しいただき、我々にとって非常に得るものが多い講演となりました。

セミナーの運営としまして、皆様にはご不便おかけいたしましたでしたが、参加して良かった、面白かったとっていただけるセミナーであったと思っております。本セミナー（モニタリング）で得た知識（インプット）を今後の皆様のご活躍の場（アウトプット）でお役に立てれば幸いです。

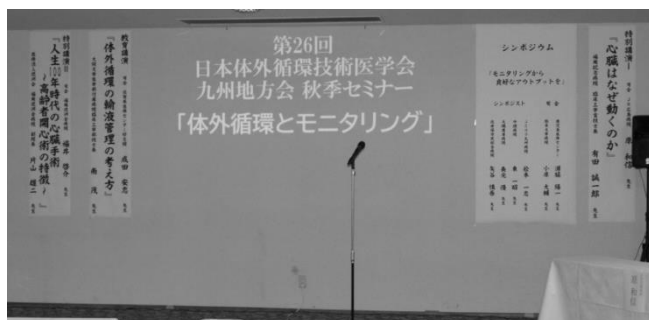
最後になりますが、J a S E C T九州地方会の更なる発展と会員の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしますと共に、多大なるご支援とご協力を頂きました皆様にあたためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

次回の第27回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナーは、長崎の地にて開催される予定となっています。セミナー世話人の長崎大学病院の小柳様にバトン（絆）を渡し、秋季セミナーの報告とさせていただきます。

第26回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナー運営スタッフ



後列 左より：富永圭一、藤野真可、児玉悠太、土谷真基、木下祐輔、武藤友宏
 前列 左より：神野愛香、岸川源直、福井啓介（世話人）、妹尾淳司、山内晋一郎



世話人挨拶

■特別講演 I : 『心臓はなぜ動くのか』



有田誠一郎先生



司会：原 和信様

■メーカープレゼンテーション

司会：富永圭一様

リヴァノヴァ株式会社：寺井大輔様、日本メドトロニック株式会社：平塚 元様
 泉工医科工業株式会社：清水孝司様、テルモ株式会社：大西孝幸様

■シンポジウム：『モニタリングから良好なアウトプットを』



左より：矢谷慎吾先生、長元 優先生、東 一昭先生、松本一志先生



司会：左より淵脇陽一様、小原大輔様



会場風景

■ 機器展示風景：12社からの機器展示をいただきました。



アイムアイ株式会社、株式会社ジエイエムエス、ケティンゲグループ・ジャパン株式会社、テルモ株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社、泉工医科工業株式会社、日本モトメック株式会社
平和物産株式会社、メネイクスジャパン合同会社、マリクロットファーマ株式会社、リヴァリア株式会社
有限会社メディカルシステム

■ 教育講演：『体外循環の輸液管理の考え方』



司会：成田安志様



南 茂先生



芦村様



荒木様



野田様



堤様

■特別講演Ⅱ：『人生100年時代の心臓手術 ～高齢者開心術の特徴～』



片山雄二先生



司会：福井啓介様

■告知：第46回日本体外循環技術医学会九州地方会大会



大会長：中田正悟様（大分岡病院）

多くの皆様にご参加いただき、秋季セミナーを終えることができました。
心より感謝いたします。